

日本工学アカデミー 政治家と科学者の対話の会



終始和やかな空気の中で盛り上がる対話

日本工学アカデミーは6月6日、第7回政治家と科学者の対話の会を開催した。森建策名古屋大教授は「5G/6G時代のAI活用戦略」、岡崎直観東京工業大学教授は「ChatGPTをはじめとした生成AIと、その社会実装について」、中島義和東京医科歯科大学教授は「AI全般の解

題提供を行った」と題し、伊佐進一厚生労働副大臣は「基本的にはAIについて帰納推論なんだと。無限のデータがあっても、AIは中々『結論』を出すのは難しいんじゃないかと感じました」と述べ、対して中島教授は、「ChatGPTは、何を考えなければいけないのか（がわかる）。例えば人名を調べた時、『この人は『どういう人・生まれで、どういう実績があつて』を答えなければいけない』というアルゴリズムがすごい。例文集みたいなもので、中身については検索エンジンに譲るべきだと思います」と答えた。